

憲法9条を守るために さらに市民と野党の共闘を前に進めます!

裏面の「アベ9条改憲NO!」の署名に「協力を

アベ9条改憲阻止へ全力

11月3日(金・祝)午後 2時より、国会周辺で「アベ9条改憲NO!全国市民アクション」が行われ、4万人が参加しました。



国会正門前ステージでは、立憲民主党の枝野幸男代表、日本共産党の志位和夫委員長、民進党の江崎孝参議院議員、社民党の福島みずほ副党首、総がかり行動の高田健さん、全国市民アクションの落合恵子さん、ICANの川崎哲さんなどがスピーチしました。

日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会は、松戸駅東口で「国会包囲行動送り出し宣伝」を行い、国会包囲行動への参加を呼び掛ける



チラシを配布し、アベ9条改憲 NO! 3000万署名を呼びかけました。

千葉県内の共闘も重要な成果

千葉県では13選挙区全部で市民連合が結成され、野党共闘を後押しした結果、3区、5区、6区では共産党が候補者を降ろし、立憲民主党の候補を自主的に支援しました。8区、9区、10区、11区では共産党候補が市民連合から共同候補としての推薦を受けました。

希望の党の野党分断にもかかわらず、この共闘により、3区、6区の共同候補を比例で当選させることができました。当選後、6区の生方幸夫氏は「朝日」新聞に対し、「共産党は身を切っただけでわれわれを助けてくれた」と語りました。



生方氏(左)と握手する共産党の浮揚県委員長(10/27)

千葉県内の野党共闘の効果			
選挙区	共同候補	今回得票率	前回得票率
3区	立民・岡島一正	32.42%	18.92%
5区	立民・山田厚史	29.91%	29.20%
6区	立民・生方幸夫	37.21%	29.95%
8区	共産・小野里定良	16.44%	16.03%
9区	共産・鴨志田安代	14.46%	10.45%
10区	共産・笠原正実	7.67%	7.91%
11区	共産・椎名史明	13.84%	14.79%
合計		21.67%	18.09%

※5区の前回得票率は旧民主党の村越祐民氏の得票率

「議席が減って残念。でも共産党は身を挺して日本の民主主義を守ってくれた」の声が

10月の総選挙で、日本共産党が議席を減らしたことに「残念だったね」の声とともに、「日本共産党は身を挺(てい)して逆流を止め、日本の民主主義を守った」という声もいただいています。

安民法制も憲法9条改定も容認する希望の党の登場と、それへの衆議院民進党の合流という逆流によつて、野党共闘が危機に瀕(ひん)したさいに、日本共産党は全国67選挙区で候補者を降ろし、他の野党

や無所属候補を自主的に支援し、32選挙区で勝利。その結果、下表のように憲法を守る野党勢力は38議席から69議席に大きく伸び、憲法9条改定勢力が国会を覆いつくす事態を阻止しました。

憲法を守る立場の立憲民主党が、希望の党を上回つて、野党第1党になったことは、改憲発議を阻むための大きな力になります。これは私たち日本共産党の大きな喜びです。

勢力	総選挙の結果				増減
	政党別			合計	
政権与党	自民 284	公明 29		313	-5
補完勢力	希望 50	維新 11		61	-10
野党共闘	立民 55	共産 12	社民 2	69	+31